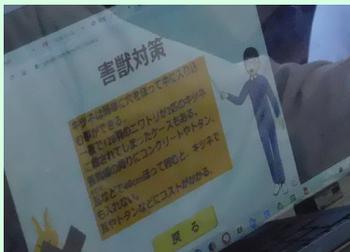


クラウドを活用した個別最適で協働的な学びの充実

クラウドの活用実践2

- ・課題を全体で共有するが、解決するための条件を教師や生徒が選択することで、主体的に学びに向かうことができる。
- ・振り返りは個人で行うが、その振り返りを共有することで他者の意見を参考にできる。



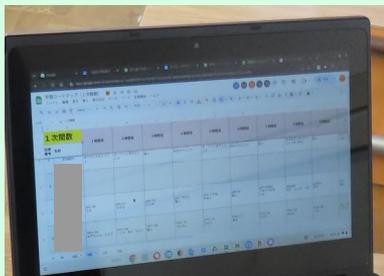
【2年 技術・家庭科】

端末で養鶏場の経営シミュレーションを行うが、経営に取り組む課題は生徒ごとで違う。



【1年 国語科】

課題に即した文章を考える中で、「①3文で表現、②3文節・4文節・5文節で書く、③できた文を文節と単語に分ける」という条件を加える。



【2年 数学科】

一次関数について考えたことを説明し合う。そこで学んだことを個人で振り返り、その振り返りを全体で共有する。

課題やツールをクラウドで共有するが、解決に取り組む手立は個々によって様々である。課題を共有しているからこそ、個人で考えていても他者の考えが必要となる。